

ふれあいネットワーク

# ふれあい



## 地域のボランティア活動

～誰もが元気に活動できる居場所づくり～

ボランティアサークル「サンキューの会」結成20周年

今年2月で結成20年を迎えるサンキューの会（別海、神田八光会長、会員40名）は、福祉施設での介助の手伝いや高齢者の居場所づくりなど、多岐にわたる活動により平成29年度北海道社会貢献賞（地域活動推進功労者）を受賞しました。（7ページをご覧ください。）



 別海社協だより

社協だより「ふれあい」は赤い羽根共同募金の一部助成を受けて発行しています

発行 社会福祉法人 別海町社会福祉協議会

〒086-0203 北海道野付郡別海町別海西本町36番地  
☎(0153) 75-2148 ・ ㊚ 75-0457



# 平成30年 新年の御挨拶

別海町社会福祉協議会

会長 山口 長伸

明けましておめでとございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。別海町民の皆様方には、それぞれ希望の新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

## 新玉の明けやらぬ間に若水を汲み置き祈り幸を飲み干し

子どもの頃、我が家の新年は、その家の男の子が若水を汲むものだと教えられました。私は、その仕事に責任を持たされ、その後、こぎれいな服に着替えて、お雑煮・煮しめ・昆布巻き・数の子などの縁起ものを戴いてお正月を祝ったものでした。

## 一年にたった一度の白米を食べる嬉しさ小さな幸せ

その頃の生活は、どこか家庭も貧しく、普段は麦飯や外米、イモやカボチャの食事でした。ところが、お正月だけは、白米の夕飯を食べさせてもらえることが、子ども心に楽しみました。そんな小さな幸せの思い出が、すごく懐かしいのです。

## 今の世は格差社会が広がって

## 福祉の救い待つ人多く

さて、そんなあの日から六十年も経った今、世界では飢餓人口が8億5千万人、一日4万人が餓死しているそうです。また、我が国では、7人に1人の子どもが、貧困家庭で育っているという統計もあります。現実の世界の片隅では、福祉などという言葉も無く、我が国でも、福祉の手が行き届かない実態です。

## 我が国の社会福祉は江戸時代

## 農民同士相互扶助から

私が「福祉」の言葉を知ったのは、現在の中央公民館が「福祉センター」と呼ばれていた昭和40年代、半世紀ほど前のことです。それまでは、「向こう三軒両隣」「遠くの親戚より近くの他人」の、支え合いや助け合いが社会福祉の基本でした。

## 少し調べてみますと、江戸時代、

士農工商の身分制度が幅を効かせていた頃、領主や地主の法外な年貢による圧政や、冷害・飢饉で苦しんでいた農民の相互扶助が、我が国の社

## 会福祉の原点だったようです。

## 行政と手を携えて我が町の社会福祉をさらに進展

別海町長は、平成29年度の行政執行方針の中で、「私の町政に対する熱い思いである『子育て世代への応援』『老後の安心』（中略）について、『速やかに実行しなければならぬこと、実行できること』について、積極的に検討し、取り組みを進めていく」と公約しています。

## 少子高齢化・働く世代の減少・認知症患者の増加・介護職員の不足等、

別海町の社会福祉の課題は山積しています。

平成30年という節目の年の初めに当たり、「今すぐにすべきこと、今年中にしなければならぬこと」等を整理し、行政と連携協力し、会長の職責を果たしていく決意です。

## 夢を見て希望を抱き目標は

## 必ず実現社会福祉の

本年もよろしくお願い申し上げます。

- |     |       |     |        |     |       |     |       |     |       |     |       |     |       |     |       |     |       |      |       |      |       |     |        |     |        |     |        |     |       |
|-----|-------|-----|--------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|------|-------|------|-------|-----|--------|-----|--------|-----|--------|-----|-------|
| 会長  | 山口 長伸 | 副会長 | 加勢 正司  | 理事  | 白田 誠治 | 理事  | 佐竹 弘博 | 理事  | 下地 博  | 理事  | 菅田 節弘 | 理事  | 鈴木 義實 | 理事  | 羽石 都子 | 理事  | 平沢 英敏 | 常務理事 | 佐藤 敏  | 事務局長 | 佐藤 敏  | 監事  | 小椋 ともよ | 監事  | 島崎 美智子 |     |        |     |       |
| 評議員 | 大月 香  | 評議員 | 河嶋 田鶴枝 | 評議員 | 神部 勝利 | 評議員 | 藤 富士雄 | 評議員 | 佐藤 芳江 | 評議員 | 島田 安信 | 評議員 | 清水 浩光 | 評議員 | 橋本 淳一 | 評議員 | 降旗 和人 | 評議員  | 松倉 穂子 | 評議員  | 水本 節子 | 評議員 | 三原 眞佐子 | 評議員 | 村井 勉   | 評議員 | 山田 志保子 | 評議員 | 吉野 宮子 |

(五十音順)



## 福祉講演会開催

# あなたは認知症予防していますか

〜認知症になった波平〜

講師に日本福祉大学中央福祉専門学校専任教員の渡辺哲雄氏をお招きし、町民118名に参加いただいた福祉講演会は、重いテーマながらもユーモアに富んだお話で終始笑いに包まれました。

認知症のメカニズムでは、感動(こ



こでの感動とは、感情が動くことであり、怒りや悲しみといった負の感情も含まれる) することで脳の扁桃体が刺激され、認知症予防に効果的だということです。

氏は認知症に起因した事故の裁判を取り上げ、責任の所在についても問いかけてきました。

本人や家族に責任を問うのはあまりにも酷で、家庭での介護のハードルを上げかねず、家族の努力に配慮した妥当な判決だったとする一方、被害者の側に立てば、被害も深刻であり、よかつたとばかり言えない面もあると話しました。

現在、万々に備える保険も開発されています。

「サザエさん」に登場する磯野家の大黒柱「波平」がもし認知症になったら、一家が疲弊し、徐々に不和が生じ、カツオやワカメ、孫のタラちゃんにまで波及していく様子に、認知症という病気の深刻さと、地域など家族以外の支えがとても重要であると考えさせられました。

## 「地域の見守りや

# 支え合い活動を考える」開催

〜住民みんなが参加する街づくりを目指して〜

交流館がらとに町内会関係者、民生委員、たすけあいチーム、ボランティア等31名が集い、研修会を開催しました。

### ■「支え合い」が求められる背景

少子高齢、過疎化、孤立、貧困・失業、公的サービスの限界(介護サービスの人材難、増加する費用など)など、さまざまな要因があります。支え合わなければ、住み慣れた地域での生活ができない時代といえます。

### ■社会福祉協議会の役割

例えば、支援活動をしたいけれど、地域で困っている人を把握できない場合、情報を提供してもらえれば、日頃の見守りや訪問活動、ゴミ出しが難しい人への協力など、支援に繋げることができます。

また、住民だけでは対応できないことを、公的制度や公的サービス、相談窓口、民間団体・ボランティアにつなぐことができれば、協働で解決方法を考えることができます。

① たすけてほしい人と、支援する

人をつなぐ(さまざまな人を巻き込み、困っている人の支援につなげる工夫、マッチング)、② 地域活動を住民に広報する、③ 行政、相談機関、専門職、商店、団体等との連携を図らなければなりません。

住民のみなさんとともに考え実践する活動です。

活動に興味がある、身近な人を手助けしたい、そんな方はぜひ社協(TEL 0153-75-2148)へご連絡ください。



8月28日から10月23日

## 市民後見人養成研修

6日間にわたり、成年後見制度の担い手となる市民後見人養成研修を開催し、8名が制度の基礎知識から実務、市民後見人の役割、関係制度、地域福祉の取り組みや地域資源の把握などを学びました。



社会福祉協議会では市民後見人（支援員）と共に、認知症や障がいなどにより判断能力が不十分な

人に対し、法人後見業務を行い、その人らしい生活を送れるよう必要な手続きやお金の管理を代行します。  
今後の生活に不安を抱えている方は社会福祉協議会までご相談ください。

10月9日

## 「包装食袋で作る非常食講座」開催

10月9日、別海町中央公民館にて「包装食袋で作る非常食講座」を開催しました。

当日は、西別・上西春別両赤十字奉仕団の皆さんを講師に迎え、災害時に備えた包装食袋（ハイゼックス）と呼ばれる袋を用いた非常食の炊き出しについて学びました。

はじめに、包装食袋が開発された経緯、包装食袋を使うことのメリットが説明されました。

その後、参加者は実際にダシたまごと蒸しパンの2品目を調理しました。

調理された非常食は、とてもおいしく出来上がりました。

最後に日本赤十字社の活動をま

めたDVDを鑑賞し、日本赤十字社について理解を深めました。

参加者からは、「災害時に美味しい料理を食べられることはとてもありがたい」といった声もきかれ、とても意義のある講座となりました。



11月10日

## 町内会役員・会長研修会開催

「地域の支え合い活動について考える」

29名の参加により、川湯において別海町町内会連絡協議会（山口長伸会長）の役員・町内会長研修会を開催しました。



曾根町長より「これからの行政運営」について、別海町の課題と今後の考えをお話しいただきました。  
この後、曾根町長はじめ4名の幹部職員の方にも加わっていただき、グループに分かれて、地区ごとで取り組んでいる地域の見守り・サロン活動を紹介しあいながら、課題について熱心に協議しました。

地域の支え合いについては、町内会に限定せず、行政・商店・銀行など色々な立場の人が話し合いに加わってもらい声を聞くこと、社協だより等で地域活動をもっと知らせてほしいなど、意見ができました。



12月6日

# 被災者に寄り添う活動を目指して 別海町災害ボランティアセンター 運営研修会開催

ぷらごにおいて、一般社団法人Design Design 理事長の篠原辰二氏を講師に迎え、実際の被災地の災害ボランティアセンターの映像を見たり、演習を交えながら、センターの概要・機能・役割を学び、どう活動・運営すべきかを参加者みんなで考えました。



講師の篠原辰二氏

## 社会福祉協議会に災害ボランティアセンターを設置する意義

日常的に住民と接し、行政、団体、民生委員、町内会関係者などとのつながりを有し、長く被災者に寄り添うことが可能であることから、担い

手として期待されています。

## 支援する側(災害ボランティア)を主役にした原則

被災者の声に出せない「声」に耳を傾け、復興を遂げる被災者主役の運営、多様な機関との協働が重要です。また、災害ボランティアセンターも日頃のボランティアセンター活動の延長上にあることを再認識しました。



## ケアマネの部屋 9

# ほっとTime

うとしている自分に戻っているのです。否定は混乱を招くばかりです。どうぞ、その世界にお付き合いしてみてください。

「こっこのネクタイの方が素敵ですよ」と何度かやりとりをしている内に落ち着いてくるかもしれません。

それでもダメならさらに付き合ってください。本人も途中で何かがおかしい事に気づいてくるかもしれません。

靴を履いて出て行こうとしたならば、そこでちよつと場面転換してあげてください。

「あら、お帰りなさい。」

どうでしょう？

本人もホッとするでしょう。

ある著者によると、認知症介護の上手な人は、

- ・ その場しのぎが出来る人
- ・ 時間稼ぎが上手い人だそうです。

こちらに合わせようとイライラするのではなく、皆さんちよつとだけ上手な嘘つきになって、介護を楽しんでみてはいかがでしょう。

(陽)

認知症を患う方々を介護するご家族、介護に携わる側に出来る事は、その方の「暮らし」を守り、人生に寄り添う事にあると私は考えています。

今回は、問題行動と呼ばれる中の一つについて、考えてみたいと思います。

夜中に着替えて会社に行こうとしているAさん。みなさんならどう対応しますか？

「今何時だと思ってるの？」

「会社なんでもつないでしよう！」  
「いいいなくなってしまうよね？」

でもここで考えてみてください。Aさんは本当に会社に行こ

別海町共同募金委員会

平成29年度

赤い羽根共同募金中間報告

10月1日より実施しました「赤い羽根共同募金運動」では、町民の皆様、企業、学校、老人クラブ、街頭募金などに募金をお寄せいただき誠にありがとうございました。

お寄せいただいた募金は、北海道共同募金会に納めた後、審査委員会を経て、平成30年度に福祉団体や施設等へ助成し、地域福祉の様々な事業に活用させていただきます。

平成29年度赤い羽根共同募金実績

2017.12.20現在

実績額 3,816,888円  
 目標額 4,200,000円  
 達成率 90.88%

(内訳)

募金種別	件数	金額(円)
戸別	2,901件	1,925,822
街頭	3件	34,484
法人	254件	1,498,500
学校	11件	41,993
イベント	3件	13,664
募金箱	39件	48,258
団体・その他	21件	254,167
合計	3,232件	3,816,888



街頭募金 別海中央中学校の皆さん



中春別中学校様



別海高校様

うれしい言葉が届きました

中西別小学校（古森康晴校長 児童48名）の皆さんから別海町共同募金委員会にうれしい手紙が届きました。

皆さんの気持ちを大事にして、使わせていただきます。

ありがとうございました。

ぼくたち中西別小学校では、イベント委員会、ボランティア活動を行っています。今年は、12月11日分が一週間、赤い羽根の募金活動を行い、全校児童に呼びかけてきました。みなさんの協力があり、たくさんの募金が集まりました。募金総額は、6295円でした。

この募金は、困っている子ども達やお年寄りのために使、ていただきたいと思っています。また、別海の町をより良くするために役立ててもらえるとうれしいです。よろしくお願ひいたします。

平成29年12月18日  
 中西別小学校 イベント委員会一同

12月1日 歳末たすけあい運動報告

皆様の善意により、「歳末見舞金」を生活困窮世帯20世帯、障がい者グループホーム、小規模作業所、児童デイサービス、特別支援学級合同事業運営委員会の4団体へ、また、「児童生徒進学（就職）支援金」を19世帯へ届けることができました。

「ご協力ありがとうございました」(敬称略)

北海道別海高等学校・西春別駅前郵便局・別海町民生委員児童委員協議会・本覚寺まどか仏教婦人会・サンキユーの会・別海北の勝を愛する会・上西春別赤十字奉仕団・JA道東あさひ女性部べつつかい支部・JAほほえみ会・野付漁業協同組合女性部・別海連合町内会女性部・西別赤十字奉仕団・別海町役場・根室北部消防事務組合別海消防署・別海町季節労働組合・別海漁業協同組合女性部・別海ロータリークラブ

今年もコカコーラ社から福祉施設へクリスマスプレゼント！

今年も北海道コカ・コーラボトリング(株)中標津営業所様より飲料19ケースを寄贈いただき、町内の高齢者施設、高齢者や児童デイサービス施設、児童館、障がい者施設等へ届けました。



収集ボランティアにご協力ありがとうございました

- リングブル
- 平賀 由喜子 様
- 郵便局長夫人会 一同 様
- 上春別小学校 様
- 使用済みテレフォンカード
- 石井 正 様
- 使用済み切手
- 伊藤プロパン 様



## 地域の ボランティア活動紹介

「いつでも誰でも自由に」

サンキューの会(別海)

事務局長 中根 富士美



私たちの会は、今年2月20日で結成20周年を迎えます。

現在会員は40名(男女同数)おり、年齢層は40代から90代と幅広く、平均年齢は72歳です。

施設ボランティア班、在宅・国際絵手紙班、健友会(会員交流)班、居場所・資金造成班の4つの班活動



を中心に活動しています。

会員それぞれが、自分の好きな活動を選んで楽しく活動していく中で、「いつもありがとう。サンキュー」と笑顔で言われることに、多くの会員が生きがいや、やりがいを見出し、長く会員であり続けてくれるように感じます。

11月11日に20周年記念式を行いました

したが、出席した会員の皆さんが、「30周年に向けて、それぞれができることを見つけて、頑張っていきたい」と、新たなスタートを切ることができたように思います。

町からお借りした旧消防署の建物(サンキューの家)を拠点に活動していますので、ぜひ一度見学にいらしてください。

## わたしの 町内会活動紹介

### たすけあいチームの 見守り・訪問活動

別海常盤町内会ふれあいサポート

福祉委員 飯島 悦子

少子高齢時代を迎え、支援を必要とする人が増えたことから、プライバシーを尊重しながら隣人同士が互いに見守り支え合う『街づくり』を目

的に、町内会で小地域ネットワーク活動の取り組みが始まり、そのとき、わが『常盤町内会ふれあいサポート』を発足し、18年がたちました。

会員12名で、各2〜3名のチームを作り、ご夫婦どちらかが70歳以上の世帯と、65歳以上の独り暮らしの方を対象に、47世帯75名の方々の見守り、声かけ訪問、災害時の安否確認等を中心に活動しています。

近年、個人情報扱いについて厳しい対応が求められ、対象者の把握に苦労していますが、そのつど対象になられた方を訪問し、活動の趣旨や内容を説明してご理解を得、緊急時の連絡先などの情報をいただいています。

訪問時の「いつもご苦労さま」の言葉と笑顔に励まされ活動しています。



## 特殊詐欺に だまされなさいで!

あわててお金を出してはダメ、宛先に電話や問合せは厳禁! 家族や警察にまず相談!

中標津警察署管内で架空請求詐欺被害が発生。家族、隣近所で声かけ、注意しあいましょう。

★特殊詐欺とは

電話、ハガキ、メールその他の手段で、振込・レターパック・ゆうパック・宅急便・現金などの方法でお金をだましとる

★これもあれも特殊詐欺

- 訴訟告知のお知らせ
- おれおれ詐欺
- 架空請求詐欺
- 融資補償金詐欺
- 還付金等詐欺
- 金融商品等取引名目
- ギャンブル必勝情報提供名目
- 異性との交際あつせん名目



# 献血のお願い

## 平成29年度・第3回 献血を実施します

～下記の日程で「移動献血車「ひまわり号」が町内を巡回します～

実施日	実施場所	受付時間
2月7日(水)	JA道東あさひ本所兼別海支所	9:00～11:30
	中春別農業協同組合	13:00～14:30
	フクハラ別海店	15:00～16:30
2月8日(木)	陸上自衛隊別海駐屯地	9:00～12:30
	JA道東あさひ西春別支所	14:00～16:30
2月9日(金)	別海町役場	9:00～11:45
		13:00～16:00

※陸上自衛隊別海駐屯地での献血は自衛隊員を対象としております。大変申し訳ございませんが、一般の方はご遠慮願います。

## 日本赤十字社別海町分区分

別海町別海西本町36番地（社会福祉協議会内）

TEL 0153-75-2148

年間総献血量は、  
男性 1200ml以内  
女性 800ml以内です。  
※献血カード（裏面）に記載しております“次回献血可能日”をご確認の上ご協力お願い致します。  
**400ml献血に御協力を!!**



# 社協職員先進地域福祉活動視察研修に参加

11月8日～10日

### ■小坂町社会福祉協議会

小坂町社協（人口約5500人）は、高齢化率40%を超え、地域的人的資源・社会資源を活用し、介護予防・日常生活支援総合事業にいち早く取り組みました。

### ■藤里町社会福祉協議会

藤里町社協（人口約3400人）は、ひきこもり・閉じこもりの人の就労支援のため、地元食材の白神まいたけのキッシュやうどんの製造及び販売事業を実現しました。

### ■岩手県社会福祉協議会

平成28年の台風10号被害の際、4つの災害ボランティアセンターを立ち上げ、県内全域の社協職員が協力し、全国からのボランティアの受け入れがスムーズに行われました。北海道でも、こうした体制の整備が急がれています。



猫塚主事

# 「ご寄付ありがとうございました」

平成29年9月20日～平成29年12月20日まで

(敬称略)

- |                |             |                  |                |            |                 |             |              |               |                  |            |                 |            |            |               |                  |            |               |              |              |            |           |              |             |             |
|----------------|-------------|------------------|----------------|------------|-----------------|-------------|--------------|---------------|------------------|------------|-----------------|------------|------------|---------------|------------------|------------|---------------|--------------|--------------|------------|-----------|--------------|-------------|-------------|
| 栗山則雄 (西春別駅前西町) | 吉田強 (別海寿町)  | ヤマギシズム別海実頭地 (別海) | 蠟山てい子 (尾岱沼潮見町) | 臼井政子 (中西別) | 小椋あき子 (別海川上町)   | 高畑正 (別海宮舞町) | 磯田俊夫 (別海常盤町) | 田保和枝 (別海常盤町)  | 板倉春 (尾岱沼潮見町)     | 田村良次 (床丹)  | 飛田徹也 (中春別)      | 安達一也 (中春別) | 本田訓士 (上春別) | 平井俊夫 (上春別)    | 阿部直樹 (尾岱沼潮見町)    | 富田トミ子 (本別) | 信夫チエ子 (別海常盤町) | 森トミ子 (別海常盤町) | 笹谷幸一 (別海鶴舞町) | 石立智康 (中春別) | 齊藤春雄 (奥行) | 藤崎英次 (別海川上町) | 佐藤千代子 (上春別) | 佐々木勉 (別海緑町) |
| 高橋利忠 (別海)      | 伊沢則義 (別海緑町) | 川原早苗 (別海宮舞町)     | 高野彰宏 (別海)      | 瀧尾菊江 (尾岱沼) | 石川ヒロ子 (西春別駅前寿町) | 木下良博 (上風連)  | 富永哲夫 (中春別)   | 齊藤勝 (中標津町計根別) | 別海町立上春別中学校 (上春別) | 上石芳子 (上春別) | 石川ヒロ子 (西春別駅前寿町) | 木下良博 (上風連) | 富永哲夫 (中春別) | 齊藤勝 (中標津町計根別) | 別海町立上春別中学校 (上春別) | 上石芳子 (上春別) |               |              |              |            |           |              |             |             |

